ポイントランキングの基準

宮城県高体連テニス専門部強化委員会

１．　高体連ポイントランキングについて

（１）　選手のモチベーションアップを図るとともに，組合せ作成時におけるシード選手および学校の決定を速やかに行うことを目的とする．

（２）　宮城県高体連テニス専門部主催の２つの大会（県総体と県新人大会）および宮城県テニス協会主催の大会のうち６つの大会（春季ジュニア，国体予選，県民体育大会，夏季ジュニア，冬季ジュニア，次年度春季ジュニア）の合計８大会をランキング対象大会とし，各大会で取得したポイントの平均によってランキングを決定する．参加大会数の基準は，春季ジュニアから数えて，新人大会時→単 3，複 2，県総体時→単 4，複 3 とする．

（３）　高体連主催大会のシード選手および学校選考の参考資料とする．シード作成にあたりこのランキング表を用いる大会は，新人大会個人の部，同団体の部，次年度県総体個人の部，同団体の部である．

２．　各大会のグレードとポイントについて

（１）　高体連の大会および全国大会までつながるジュニア大会はグレード３，東北大会および県大会までのジュニア大会はグレード２，春季ジュニアＵ－１６，冬季ジュニアＵ－１６はグレード１とする．ポイントは，シングルス３２以上，ダブルス１６以上の者に与える．ただし，県の代表として他の行事に参加し出場できない場合，天候その他の事由により，整合性を保つことができないと判断される場合は，強化委員長がベスト何以上の者にポイントを与えるかを決定する．

補：冬季ジュニアＵ－１６が降雪のため延期され，参加辞退者が続出，試合をせずにポイントを取得するという問題が生じたことがある．また，新人大会と東北総体（ミニ国体）の日程が重なり，新人大会個人戦に参加できなかった選手にシングルスポイントを与えたこともある．

（２）　ポイントランキングは，１年ごとに新たに更新されていくものとする．その年のポイントは春季ジュニアから始まり，次年度の県春季ジュニアまでの集計とする．

春季 Jr.→県総体→国体予選→県民体育大会→夏季 Jr.→県新人大会→冬季 Jr.→次年度春季 Jr.

集計開始　　集計終了

（３）　各大会のグレードは次の通りとする．グレードとポイントの対応表は３．を参照のこと．

①　春季ジュニア　グレード３　※　Ｕ－１６はグレード１
（ただし，東北ジュニアテニス選手権大会(単複)ストレートインの選手には，Ｕ－１８，Ｕ－１６ともに優勝ポイントを与える）

②　県総体　グレード３

③　国体予選　グレード３

④　県民体育大会　グレード２

⑤　夏季ジュニア　グレード２

⑥　県新人大会　グレード３

⑦　冬季ジュニア　グレード２

※　Ｕ－１６はグレード１（ただし，東北春季ジュニアテニス選手権大会(単)のストレートインの選手には，　Ｕ－１８，Ｕ－１６ともに優勝ポイントを与える）

※ただし、2022 年度についてはすべての大会のＵ－１８をグレード３、Ｕ－１６をグレード２で統一するものとする。

（４）　ポイントは個人に与えられる．ダブルスについては，両選手それぞれにポイントが与えられる．

（５） ポイントランキング表は，更新され次第，宮城県高等学校体育連盟テニス専門部ホームページにて公開する．

３．グレードとポイントの対応表（2022 年度）

グレード	3 春季Ｊｒ・県総体 国体予選・県民体育大会 夏季Ｊｒ・県新人大会 冬季Ｊｒ（すべてＵ－１８）	2 ジュニア大会の U16 の部	1
優勝	100	75	42
２位	70	53	29
ベスト４	45	34	19
３位	48	37	22
４位	42	31	16
ベスト８	25	19	11
５位	28	22	13
６位	26	20	12
７位	24	18	11
８位	22	16	10
ベスト 16	15	11	6
ベスト 32	8	5	3

４．県総体個人戦のシード基準

（１） シードの数は，シングルス上位３２名，ダブルス上位１６名とする．

（２） シングルスのシードは，１～４はポイント順に確定．ルールブックに準じて，５～８，９～１２，１３～１６，１７～２４，２５～３２は抽選によって決定する．

（３） ダブルスのシードは，１・２はポイント順に確定．ルールブックに準じて，３～４，５～８，９～１２，１３～１６は抽選によって決定する．

※ただし，県総体個人のシードについては，高校２・３年生が対抗できない，あるいは対等レベルの選手が入学した場合，シードを考慮し，顧問会議で決定する．その順位が確定 した場合，団体のシード基準にも適用する．

※県外から入学した選手について

① 東北春季ジュニアのシングルス U-16 に出場していた選手はグレード１のベスト４と同等の評価とし，冬季ジュニア時のシングルスポイントランキングに１９点を加算する．

② 東北ジュニアのシングルス U-16 に参加した選手はグレード１のベスト４と同等の評価とし，開催時期が近い県民大会時のシングルスポイントランキングに１９点を加算する．

③ ①または②ではないが，今年度の春季ジュニアのシングルスの結果にて高校２・３年生が対抗できない，あるいは同等選手と判断できる選手は，上記の①，②のポイントを加算する．

５．　県総体団体戦のシード基準

（１）　シードは昨年度の春季ジュニアから今年度の春季ジュニアまでのポイントランキングを用いて決定する．

（２）　シングルスポイントランキングの１位に 10 点，２位に８点，３・４位に６点，５～８位に ５点，９～16 位に４点，17 位～32 位に３点を与える．

（３）　団体のシードは団体登録選手のポイントの多い順に候補を８チーム決定する．

※１～４シードについては，複数選手のポイント順に候補を挙げる．
　したがって，１人のみのポイントの場合，１～４シードから外れる．

※５～８シードについては，複数選手のポイント順を優先し，８位まで満たされない場合は，
　１人のポイントでも，シードの候補に挙げる．

補：ポイント数が同点の場合は最高順位の選手のランキングの高い方を候補とする．

（４）　１～８シード候補チームが，基準では不都合があると常任委員が判断した場合，層の厚さと ダブルスのランキングも参考とし，常任委員会がシード案を提示し，顧問会議で決定する．

６．　新人大会ボーナス枠の基準（シングルス１６程度・ダブルス８程度）

（１）　県総体シングルスベスト１６以上の者

（２）　県総体ダブルスベスト８以上のペア

（３）　新人大会組合会議前日におけるシングルスポイントランキングにより選出された者
　（　１６－(1)の人数を選出　）

（４）　新人大会組合会議前日におけるダブルスポイントランキングにより選出された者
　（　８－(2)のペア数を選出　）

７．　新人大会個人の部のシード基準

（１）　シードは春季ジュニア，県総体，国体予選，県民体育大会，夏季ジュニアまでのポイントランキングを用いて決定する．

（２）　シードの数は，シングルス上位３２名，ダブルス上位１６組とする．

（３）　シングルスのシードは，１～４はポイント順に確定．ルールブックに準じて，５～８，９～１２，１３～１６，１７～２４，２５～３２は抽選によって決定する．

（４）　ダブルスのシードは，１・２はポイント順に確定．ルールブックに準じて，３～４，５～８，９～１２，１３～１６は抽選によって決定する．

（５）　ポイントだけでは確定できないシード対象選手がいる場合は，常任委員会で考慮し，シードを決定する．

８．　新人大会団体の部のシード基準

（１）　春季ジュニア，県総体，国体予選，県民体育大会，夏季ジュニア，新人大会個人の部のポイントランキングによりシードを決定する．

（２）　シングルスポイントランキングの１位に 10 点，２位に８点，３・４位に６点，５～８位に ５点，９～16 位に４点，17 位～32 位に３点，33 位～に２点を与える．

（３）　団体のシードは団体登録選手のポイントの多い順に候補を８チーム決定する．

※１～４シードについては，複数選手のポイント順に候補を挙げる．

したがって，１人のみのポイントの場合，１～４シードから外れる．

※５～８シードについては，複数選手のポイント順を優先し，８位まで満たされない場合は，１人のポイントでも，シードの候補に挙げる．

補：ポイント数が同点の場合は最高順位の選手のランキングの高い方を候補とする．

（４）　１～８シード候補チームが，基準では不都合があると常任委員が判断した場合，層の厚さと ダブルスのランキングも参考とし，常任委員会がシード案を提示し，顧問会議で決定する．

９．　強化練習会について

（１）　普及および技術・競技力向上のため，年３回強化事業を実施する．

①　春季強化練習会および強化試合：上位層の強化および新２年生のダブルスの強化，意識の高揚を図る．

②　夏季強化練習会：各校新体制の中心を担う選手の強化を図る．

③　冬季強化練習会：トップクラスの選手の強化を図る．

（２）　強化練習会強化指定選手の基準

①　冬季強化練習会：春季ジュニアから冬季ジュニアまでのシングルスポイントランキング上位男女各１２名程度とする．

（３）　使用コートの場所・面数・日程により指定選手の数を常任委員会で検討し，変更することがある．

（４）　強化練習会の詳細については要項を確認すること．

２０２２．４．１　施行

宮城県高体連テニス専門部